

## パブリックコメントの結果について

- 1 募集期間  
平成21年3月9日から4月8日
- 2 配布資料
  - (1) 新潟市立小中学校の適正配置について 中間報告(案) 2,000部
  - (2) 新潟市立小中学校の適正配置について 概要版 4,000部
- 3 配布場所 市政情報室 区役所 出張所 教育事務所 公民館  
図書館 小学校 中学校
- 4 広 報 市報にいがた平成21年3月8日号掲載  
ホームページに掲載
- 5 さわやかトーク宅配便開催  
開 催 日 平成21年3月21日  
依頼団体 角田浜, 越前浜, 五ヶ浜3自治会(越前小学校区)  
参加者 35人
- 6 提出件数 21件
- 7 いただいたご意見と審議会の考え方(案) 別紙のとおり

いただいたご意見と審議会の考え方（案）

○全般について

いただいたご意見等	審議会の考え方（案）	修正
<p>小中学校の統廃合を進めるべきと思います。中学校では、小規模校は1学年1クラスしか無い学校もあります。</p> <p>このような状態では、学校行事や集団生活などが充分行えません。</p> <p>他の中学校との合併を考えるべきです。校舎が新しくったり、地域の抵抗があるかもしれませんが、子どもたちのことを考えたらある程度の人数は必要です。</p>	<p>審議会では、子どもたちはある程度の人数がいて、多様な人間関係がある環境の中で揉まれ互いに成長していくことが望ましいと考えています。このようなことから学校の適正規模や検討基準を定め、具体的な検討を進めていきます。</p> <p>[9 ページ下段]</p>	なし
<p>具体的な修正はありませんが、今後とも8ページ(2)①学校と地域の協働・協創の全文と13ページ下の5行（本文：小中学校の再編は、地域との関係が・・・大切な要素になりますので・・・地域の総意として現状維持を選択される・・・別の再編案を示されたり・・・このような場合には柔軟に対応していく必要があります。）の部分の記載のとおりにおすすめしていただきたい。</p>	<p>ご意見のとおり進めていきます。</p>	なし
<p>修正文</p> <p>「本審議会では…大事な要素と考えるので、<u>小・中学校とも1学級の人数が30～32人になるよう行政努力を義務付けるものとします。</u>」</p> <p>（本文：1学級の人数が40人学級について、40人未満になるよう行政努力を求めます。）</p> <p>理由</p> <p>憲法・子どもの権利条約にのっとり、「教育の機会均等」「子どもの最善の利益」が教育行政の責務として当然、保障されなければならない。学校現場からは少数教育（新潟県が実施している32人程度学級など）によって学習効果が上がるとの研究・検証が示されている。</p> <p>学習指導要領改訂に伴い、授業時数が増加する。しかしながら、国による教員の増員は微増であり、これに代わって非常勤講師をあてることになっている。いずれにしても、1校に1人の増員にもつながらない。</p> <p>これで大幅に増える授業時数と学習内容を徹底していくのは容易なことではない。これらの負担は、正規教員にのしかかるばかりか、学ぶ側の子どもたちにさえ影響が及ぶものといえる。そこで、学級編制については、</p>	<p>学級編制は国の標準（1学級40人）に基づいて新潟県が設定しており、国と県では財政面も制度化されています。</p> <p>審議会では、30人での学級編制を行った場合、制度上新潟市の財政負担が相当過大になることから、現行の学級編制制度の下で適正配置を考えることにしました。</p> <p>その上で学級の人数は教育の効果や教育活動の面で大事な要素となりますから、なるべく40人の学級とならないように「1学級の人数が40人の学級について、40人未満になるよう行政努力を求めます。」としました。</p> <p>[9 ページ中段]</p>	なし

[ ]: 中間報告（案）の該当部分

<p>教育の効果を上げるために一学級の児童生徒数をより明確にしたうえで、今後の審議のみならず、広く市民との論議を進めるべきと考える。</p>		
--	--	--

○複式学級がある学校について

<p>いただいたご意見等</p>	<p>審議会の考え方（案）</p>	<p>修正</p>
<p>「複式学級の学校は強く進めます。」の文面の削除と保護者や地域住民の話し合いを十分重ねた上での検討をお願いしたい。</p> <p>理由 地域で子どもを育てようという意識が高まり、学校を核とした結びつきも深まっている。 地域住民への十分な説明がなく、保護者には複式学級イコール統合は仕方ないものとする印象を与えてしまう。</p>		
<p>「複式学級の学校は強く進めます。」の削除をお願いします。</p> <p>理由 小さな地域にとって、地域づくりには学校が中心となり活発に活動しているところもある。学校がなくなることによって過疎化が進み、旧郡部との格差が一段と広がるように感じる。</p>	<p>中間報告（案）は新潟市としての学校の適正規模や適正配置の検討基準などについて基本的な考え方をまとめたものです。今後この基準をもとに具体的な適正配置の検討を進めていきます。</p>	<p>なし</p>
<p>「複式学級の学校は強く進めます。」の文面の削除をお願いします。越前小（複式学級）がターゲットになっている感じがします。小規模校のメリットとして、コミュニケーションが学年すべてでうまく取れます。これは親・先生でも同じで、PTA 活動も盛り上がり、楽しく活動できています。地域活動も活発で、いろんな世代との関わりも持てます。人数だけで決めないでください。</p>	<p>小規模校には小規模校の良さがあると思いますが、複式学級では、教科の学習を系統的に学ぶことができないことや、子どもたちの発達段階に合わないこともあり、子どもたちに過大な負担になる場合があります。このようなことから複式学級は望ましい教育環境ではないと考えます。</p>	
<p>「複式学級の学校は強く進めます。」を「複式学級の学校は校区住民の意見を聞きながら検討を進めます。」に修正してください。</p>		
<p>「複式学級の学校は強く進めます。」これは合併を前提のことと思います。ここに当てはまっているものとしてはもう少し具体的な検討内容にまとめてほしいです。</p>	<p>子どもたちにとって公平で良好な教育環境をつくるのが大切ですので学校統合を強く進める必要</p>	

[ ]: 中間報告（案）の該当部分

いただいたご意見等	審議会の考え方（案）	修正
<p>小規模校の適正について地域の意見を重要にし、数合わせの統合は再考していただきたい。特に越前小学校は地域的にも自然に恵まれており、なくすのはあまりにも不幸です。是非意見を聞いてください。</p> <p>JP（日本郵便）同様残すべき施設も必要と考えてください。</p>	<p>があります。</p> <p>[9 ページ下段, 14 ページ中段]</p> <p>小規模校の統合は学校区単位で行い地域を分断することがありませんが、大規模校の分離は学校区という地域を分離することになりますので、特に地域から要望がある場合に検討することにしました。</p>	
<p>越前小学校は、小規模校として、市の適正基準に見合わせれば今回他校との統合を強く進められていく対象校になるかと思います。</p> <p>学校規模は小さいものですが、地域とのつながり、（パートナーシップ事業、地域住民によるセーフティスタッフ等）は強いものがあり、地域に学校があることにより形成されるものと思います。地域に学校があることにより、子どもたちだけでなく、地域の人々も学校行事に参加しやすく、いきいきしてくるのではないのでしょうか。</p> <p>基準だけでは計れない適正というものがあるのではないのでしょうか。</p>	<p>いずれの場合も学校の再編は大変大きな課題ですので、答申後地域と協議を進めるときは、地域の意見を尊重していく必要があります。</p> <p>[13 ページ下段]</p> <p>越前小学校をはじめ、具体的な検討は中間報告をまとめた後に行いますが、少子化が進む中で地域の皆さんと協働してより良い教育環境を創ることが必要です。</p>	
<p>説明は大変よくわかりました。基本的には、統廃合を進めることを前提に話しているような気がしてあまり良い気がしなかった。統廃合の前にまず地域の活性化をどうしたらよいのか行政も力を入れてほしい。統廃合にはもっと長い時間をかけて検討するべきだと思う。</p>		
<p>学校再編の4つの検討基準で小規模校は検討を進め、大規模校は地域から要望がある場合のみ検討を進めるというのは不公平。</p> <p>子どもの数だけで検討するのではなく、学校の環境や特色、学校活動、子供の様子、問題点等を踏まえ検討することが望ましいです。地域にとっても大きな影響があるので、地域住民の意見を第一に進めていただきたいです。</p>		

[ ]: 中間報告（案）の該当部分

いただいたご意見等	審議会の考え方（案）	修正
<p>統合反対、せっかく恵まれた学校なので現状のままでお願いします。</p> <p>生徒数が足りない場合は生徒数の多い学校から通ってもらえば良いと思います。</p>	<p>審議会では、現在の通学区域がそれぞれの歴史的経緯に基づいていることなどから、現在の通学区域を基本として考えることにしました。</p> <p>答申後、地域の総意として大規模校から小規模校への校区の変更など要望がある場合は、教育委員会であらためて検討することになります。</p> <p>[8 ページ下段]</p>	
<p>大規模校で自分らしく生活できない子ども達を自然に恵まれた小規模校へ… これからの適正配置案として考えてください。</p>		
<p>子供の数が問題なのであれば、大規模校から小規模校への転入をすすめることを望みます。（スクールバスが必要ではないか。）校区の問題は検討できないでしょうか。高校では既に全県で可能です。大規模校で問題をかかえる子どもたちを小規模校は受け入れ可能だと思います。</p>		なし
<p>住所で学区が決まる今の制度をもっと柔軟に考えて大規模校から小規模校へ自由に選べる余地があってもよい。</p>		
<p>良い環境にある学校に他から生徒を集めること、地域に世帯数が増える取り組みなどをしてからでも遅くはないと思う。</p>		
<p>今までの統合については、スクールバス等により小規模校の児童が大規模校等への統合となるが、それとは反対に大規模校の学区から小規模校へのスクールバスの運行で適正規模校に近づける方策はどうか。</p> <p>児童が少なくなってきたが、施設も充実していると思うので、自然豊かな環境の中で小学校生活を送るのも、親にとっても子どもにとっても希望する人もいるのではないか。</p>		
<p>超小規模校ですが、集落のシンボルです。是非残してほしい。</p>		
<p>せっかく出来たばかりのとても気に入っている建物だし、子ども達もすぐくのびのびと学校生活を送っているので、今のままにしてください。お願いします。</p>	<p>答申後教育委員会が再編の対象となる地域に説明会を開催する予定ですが、地域のみなさんに理解していただけるよう教育委員会からの積極的な情報提供が必要と考えます。</p>	なし

[ ]: 中間報告（案）の該当部分

	[15 ページ上段]	
いただいたご意見等	審議会の考え方(案)	修正
<p>統合は反対いたします。越前小学校を現状のままでお願いいたします。(とても質の高い学校です)</p>	<p>また、学校の適正配置は地域と協議を尽くしながらすすめていきますし、地域の総意として、現状維持を選択される場合などには柔軟に対応する必要があると考えています。</p> <p>[8 ページ中段, 13 ページ下段]</p>	
<p>統廃合ありきではないか。県内には80数校も複式学級の小学校があるのになぜ新潟市は急いで強く進めるのですか。地域と密着し、すばらしい環境のもとで勉強ができ、また地域を守るためにも小学校は残しておきたい。越前小学校を残してもらいたい。</p>		
<p>(さわやかトーク宅配便の)説明が理解できなかった。思考のもととなる知識がなかった。</p>		
<p>32人, 40人学級を地域の事情により引き下げてもよいのではないか。</p>	<p>小中学校の学級編制は国が標準を定め、新潟県が学級編制の基準を設定しています。</p> <p>審議会では、この制度の下で適正配置を考えることにしています。</p> <p>[9 ページ中段]</p>	なし

[ ]: 中間報告(案)の該当部分